



1201100594847



53

52



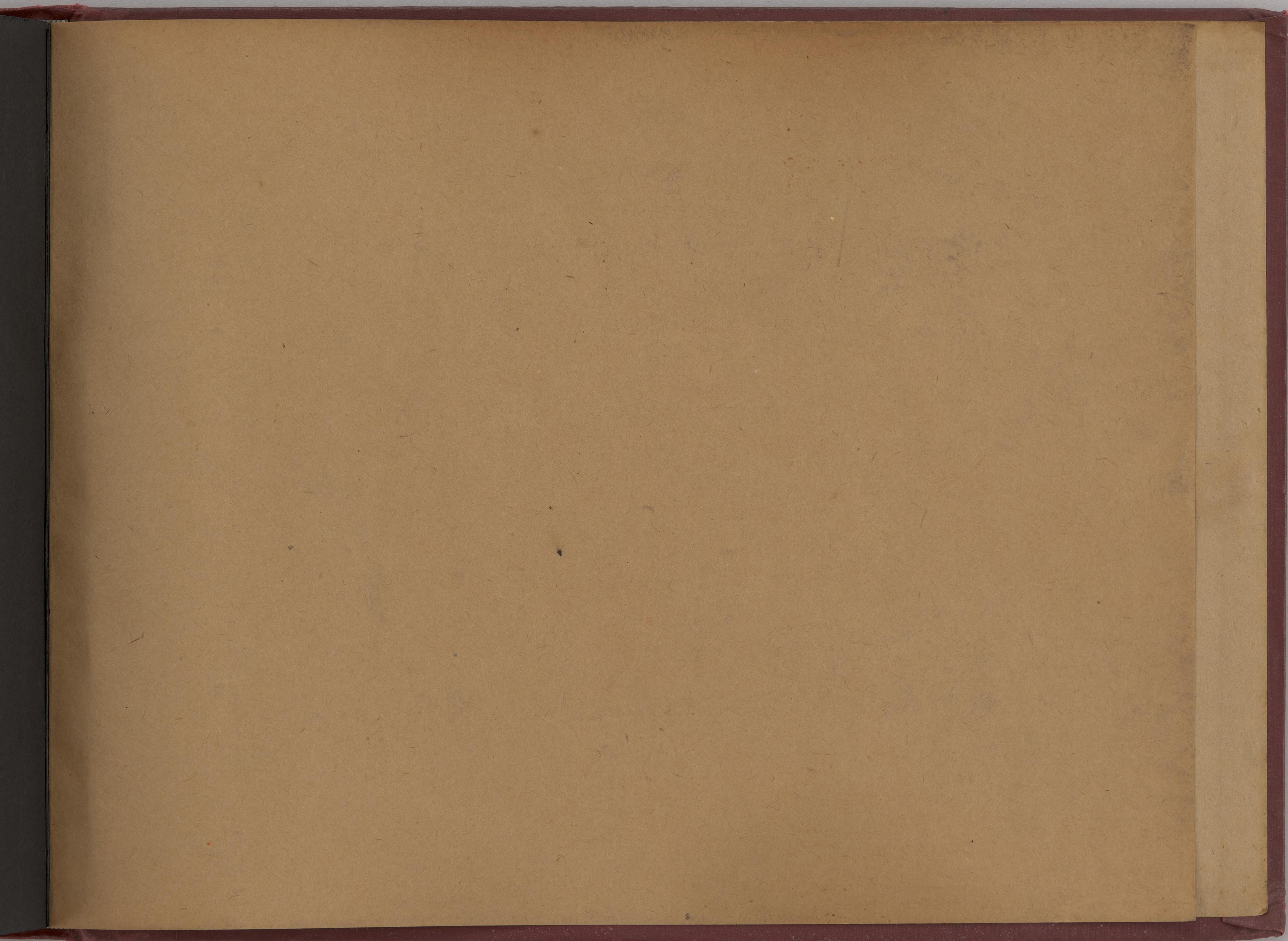
E

禁電子式複写











◎御警衛の萬全を神宮に祈願

(東京) 十年四月一日

滿洲國皇帝陛下御滯京中全力を盡して御警衛
申上ぐる警視廳では晝夜の別なく各方面の檢
索、惡疫豫防に活動してゐる、一日朝六時半
小栗總監以下廳内各部長、課長、係長等三百
餘名神宮に參拜して御警衛の萬全を期すべく
祈願した

寫眞は

一、小栗總監以下神宮祈願



◎松竹少女歌劇の

新入生銓衡試験

(東京) 十年四月一日

春ともなれば「港踊り」に「さくらカツボレ」
でサアサ浮かしやんせの絶好のシーズン、レ
ヴユー・ガールの舞臺に憧憬れる卒業生達も
ツイ浮かれて一日は松竹少女歌劇學校の入學
試験だといふので小さいオカツバ連の集るこ
と、雪解けのこの寒さにも怯げず海水着一枚
で女の子のあられなや「モツト脚を上げて。」
寫眞は

一少女歌劇の入學試験



◎師團長會議（第一日）

||冒頭林陸相の訓示||

（東京）十年四月二日

本年度恒例の師團長會議第一日は二日午前九時より陸軍省第一會議室に開會、朝香近衛、東久邇第四師團長宮殿下を始め奉り植田朝鮮、寺内臺灣兩軍司令官、柳川第一、秦第二小磯第五香椎第六杉原第七中村第八外山第九古莊第十一香月第十二畑第十四鈴木第十九三宅第二十各師團長、下元、澁谷兩留守司令官上野第十師團長代理、中央部側から林陸相、橋本、土岐兩次官、永田軍務他各局長、杉山參謀次長、林教育總監部本部長其他出席し冒頭林陸相より約四十分間に亘る訓示があつた

寫眞は

一、林陸相の訓示



新聞聯合

寫真ニュース

第二號

◎日滿色で歡迎準備

（東京）十年四月二日

滿洲國皇帝陛下にはいよいよ櫻咲く訪日いに上らせられた、來る六日御到着の日をお待ち申上ぐる市では各町會共に已に日滿色に彩られて唯だその日の來るのを待つのみとなつてゐる

寫眞は

一、銀座の奉迎準備



◎湯島聖堂の竣工式

↓伏見總裁宮殿下御台臨↓

(東京) 十年四月四日

工費五十萬圓、三ケ年の日子を要した孔子廟聖堂は四日午前九時から盛大な聖堂竣工式と併せて孔子像鎮齋式を舉行、總裁伏見宮博恭王殿下には定刻會長徳川家達公の御先導にて式場に臨ませられ尊幣、獻羹、祝詞と式は進められ一同起立の中に伏見總裁宮殿下の御拜あり總裁宮殿下退下について祭官、参列者退下して十一時半頃式を終了したがJOAEではこの盛儀を宮川アウンサーによつて全國に中繼した

寫眞は

一、總裁宮記念の御植樹



◎奉迎花電車勢揃ひ

奉迎門も全く完成

(東京) 十年四月四日

滿洲國皇帝御來朝も二日の後にせまり今より
各市内擧げて日滿色に彩られた。東京市の花
電車十價も四日は見事に完成六七八日の三日
間市内を運轉九十兩日は水天宮前に陳列され
る。又豫て建築中の東京驛頭に於ける大奉迎
門は全く竣工足場も取拂はれてその日をお待
ちする許りとなつてゐる

寫眞は

一花電車

一奉迎門



◎麗はし奉迎門の五色燈

(東京) 十年四月五日

綠門の龍宮に灯がついて奉迎門から行幸道路に沿つた兩側のポプラの並木に輪を描いた電飾がバツと一齊に輝いた。黄、赤、青、黒、白五色の滿洲色光がビル街の夜氣に流れて盟邦の元首を奉迎する都大玄關の夜の装ひは限りなく美しい

寫眞は

一、初めて電飾された大奉迎門(於東京驛前)



◎赤十字看護婦教養所落成式

(東京)十年四月五日

日本赤十字社病院の改築第一期工事として昨年一月來澁谷區宮代町に新築中の同病院看護婦教養所は五日午後二時から總裁閑院宮殿下の台臨を仰ぎ社長徳川家達公、陸海軍大臣等多數が參列して盛大な落成式を舉行した。新建築物は近世式鐵筋コンクリート三階建、建坪千六十六、延坪三千十六坪といふ豪壯なもので實習室、寄宿舎講堂等明朗な近代施設を完成して住心地のよい建物で看護婦さんの卵を養成しようといふのである

寫眞は

二台臨の閑院宮殿下



◎感激と榮光に溢る

一 滿洲國皇帝御入京

(東京) 十年四月六日

感激と榮光に溢る、六日滿洲國皇帝陛下には道途御恙なく御豫定の如く六日横濱御入港、同午前十一時半東京驛御着、天皇陛下には親しく同驛に行幸御出迎へ遊ばされた寫眞は

- 一、お召艦比叡入港 (於奉迎艦巖島)
- 二、歡迎の海軍機
- 三、秩父宮と御同列にて御上陸
- 四、榮光に輝く東京驛 (天皇陛下の御紹介にて皇族方と御交驩)
- 五、赤坂離宮に入らせらる
- 六、驛前の賑ひ
- 七、奉迎の小學生







新聞聯合寫眞ニュース 第四一六號

◎滿洲國皇帝御參拜

(東京) 十年四月七日

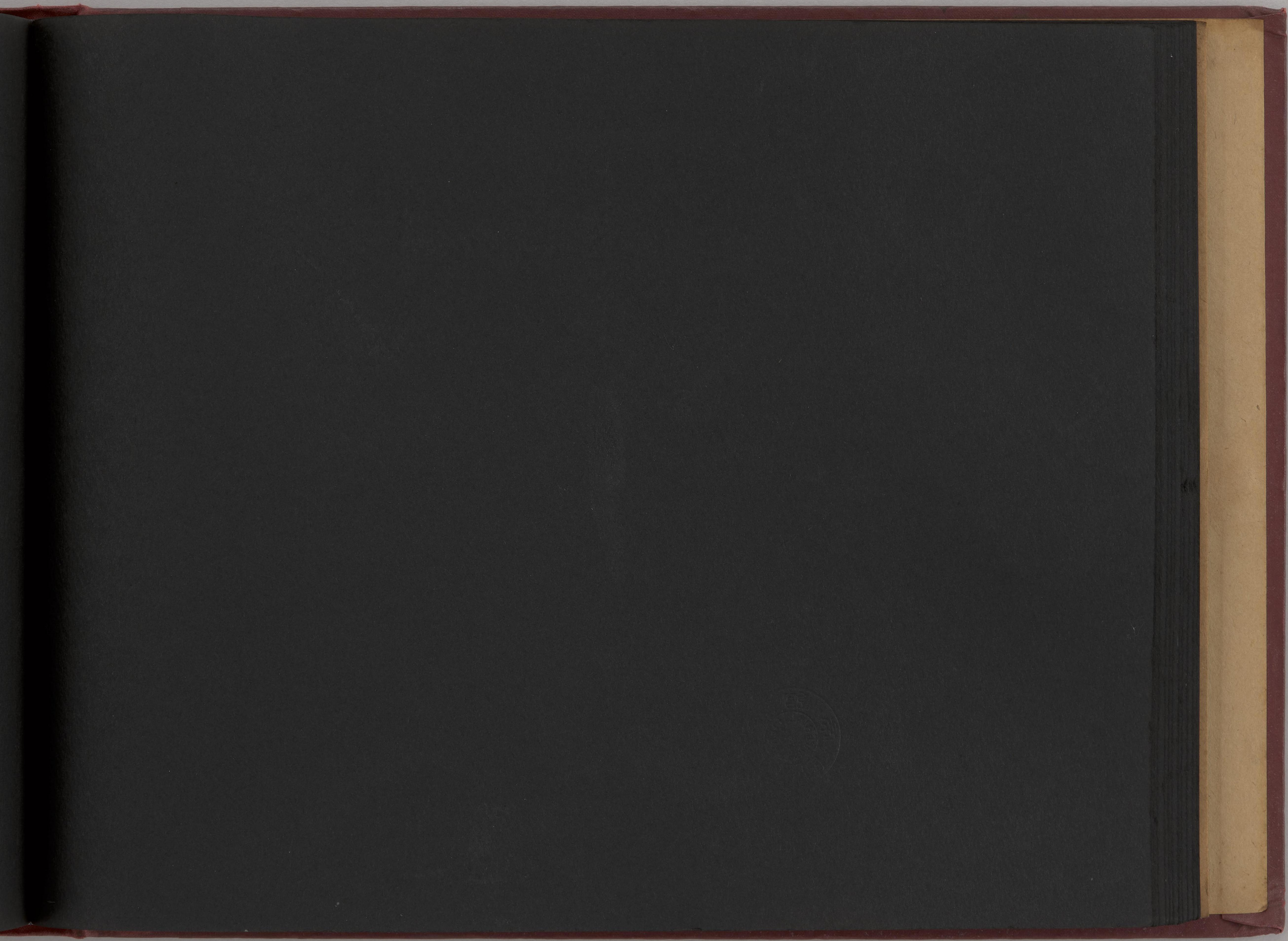
滿洲國皇帝陛下には春光麗らかな七日午前九時四十分明治神宮に御參拜、聖徳記念繪畫館にお成りの後大宮御所に皇太后陛下を御訪問靖國神社を御參拜、親しく護國の英靈を慰め給ふ

寫眞は

一 明治神宮御參拜

一 靖國神社御參拜







◎日比谷にあがる法讚の聲

けふ花ぐもりの花祭り

(東京) 十年四月八日

八日は花祭りだ。空は花曇り。日比谷新音楽堂では午前十一時から都下各宗教團體聯合の「全帝都花まつり大會」が催された。一般の參會者の外に淑徳。日の出。千代田。東洋の各女學校や智山。立正。駒澤。大正の各大學生も參加して廣い音楽堂を埋めつくして一萬餘といふ會衆。大會は先づ法樂に始まりタンダバハ舞踊研究所の奉祝舞踊。宮下晴子さんの獨唱があり午后一時からは祝式で奉佛遷座御印帳。供華。獻香。花まつり讚歌。宣言朗讀等に續いて當番の眞言宗智山派管長旭純榮大僧正によつて灌佛式が嚴重に行はれた。

寫眞は

一、花祭り行列



一、花祭り行列

◎滿洲國公使館の奉迎會

↓都下女學生の旗行列！

（東京）十年四月八日

滿洲國皇帝陛下には赤坂離宮に於ける引見式を終へさせられ午前十一時麻布の滿洲國公使館にお成り遊ばされ先着の溥傑氏潤麒氏夫妻等の出迎裡に式場に入らせられ一般の萬歳を受けさせられ赤坂離宮に御歸還遊ばされた、尙ほ都下女學生約五千名は奉迎の熱誠を表すため日比谷より離宮に到り萬歳を唱和した

寫眞は

- 一、滿洲國公使館の奉迎會
- 一、參列の丁公使、溥傑氏、潤麒氏夫妻
- 一、都下女學生の旗行列



◎代々木原頭の盛観

天皇陛下と御同乗にて

盟邦元首降参の觀兵式

（東京）十年四月九日 東洋史上に輝く盛儀
善隣滿洲國皇帝陛下に對する特別近衛師團觀
兵式は新緑の代々木練兵場に於て兩帥元首親
しく御臨場の下に盛大に行はれた

寫眞は

- 一 御同車にて御親閱
- 一 同上
- 一 分列式御親閱
- 一 空中分列式
- 一 陪觀の閣僚







◎東京市の奉迎會

(東京)十年四月十日
滿洲國皇帝陛下には午後三時三十分歌舞伎座に於ける東京市奉迎式場にお成り遊ばされ牛塚市長以下に賜謁、獻上品を御嘉納、更に二階正面の御席に御着席、市長の奉迎書捧讀萬歳三唱の後一旦御休所に入らせられ御小憩の後正面御席にて華やかな「勸進帳」「紅葉狩」の古典歌舞伎を御覽遊ばされ午後五時四十分御歸還あらせられた

寫眞は

- 一、御席の皇帝陛下、市長の捧讀
- 一、華やかな舞臺面
- 一、御覽遊ばされの皇帝







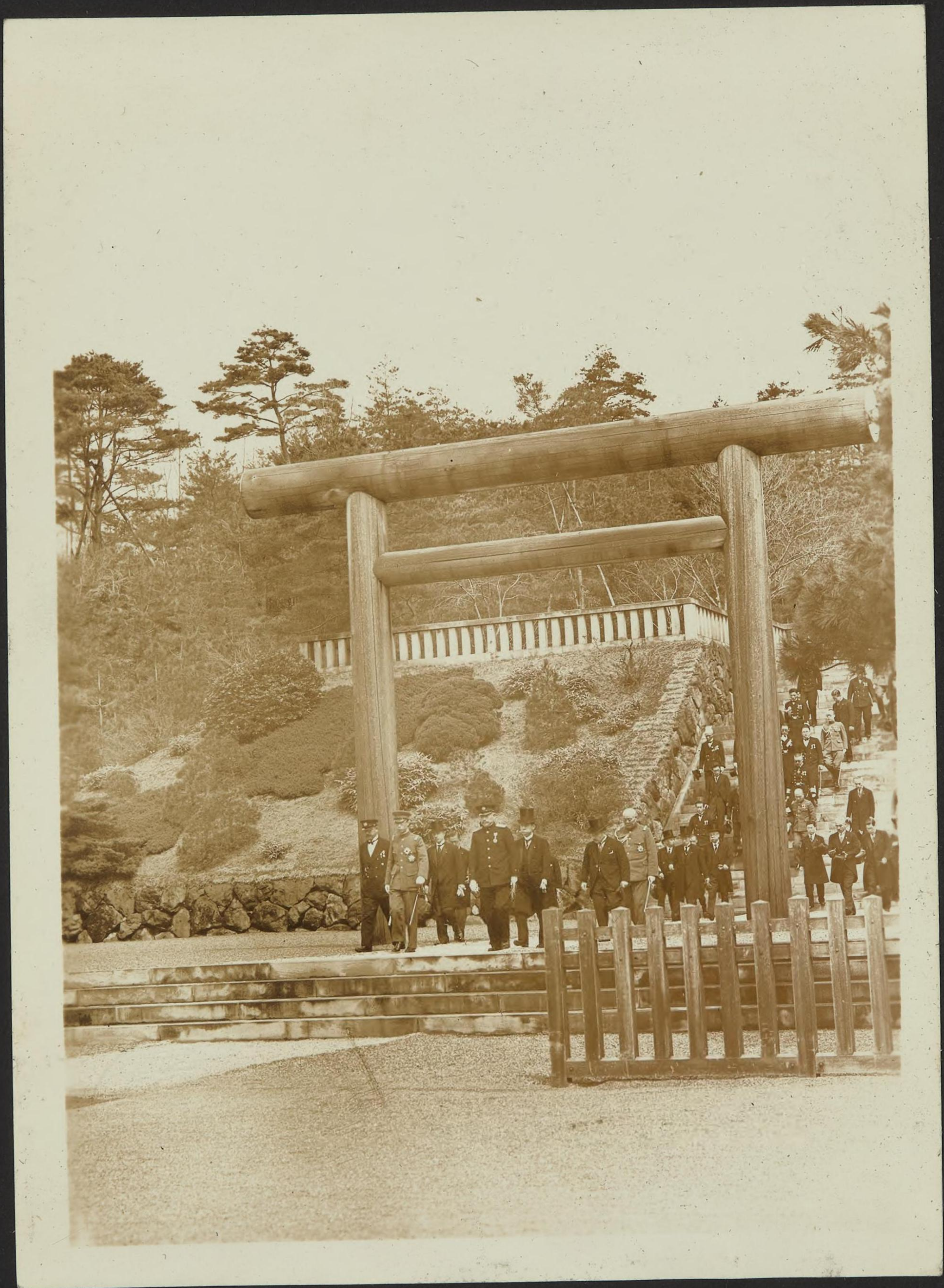
◎ 皇帝多摩陵御参拜

(東京) 十三年四月十一日

皇洲國皇帝陛下には十一日赤坂離宮御出明
前十時二十五分多摩陵第一鳥居前御着、
該前に咲き初めた山櫻の香も高く御返御門
も清々場々海められた春陽うららかな時、御
拜所に進み、恭々しく純白の花環を供へら
し御禮をなされた

宣旨は

御参拜の皇帝



◎大任駐ソ大使歸任

(東京) 十年四月十一日

賜暇歸朝以來滯京四ヶ月に及び廣田外相始め
外務首腦部と對ソ外交について打合せ中であ
つた駐ソ大使大田爲吉氏は十日廣田外相より
重要訓令を受けられたのを最後として各般の
打合せを終つたので同大使は對ソ諸懸案解決
に對する官民多大の期待を一身に擔つて愈々
十一日午後三時東京驛發富士號で歸任の途に
ついた。途中大阪京都に一兩日滯在關西實業
家と懇談の上、十三日午後十時四十八分京都
驛發特滿經由一踏モスクワに歸任の豫定で
る

寫眞は

一、歸任の大田大使



◎審議會副會長を藏相受諾

(東京) 十年四月十二日發聯合

岡田首相は十二日午前九時十分赤坂表町の自邸に高橋藏相を訪問、高橋藏相と會見した。次、町田兩長老閣僚より懇請せると同様この際内閣審議會の副會長就任を承諾せられたいと誠意を披瀝して高橋藏相の蹶起を促した。ころ高橋藏相は副會長の就任を承諾したの。更に今後の内閣審議會具體化の方針等について打合せ同九時卅分準去した。

寫眞は

一、首相藏相會見



◎堂々たる別荘

東洋一の府中刑務所

(東京) 十年四月十二日

大正十四年以來二百八十萬圓の巨費を投じて
府中町に新營中の東洋一の刑務所がやつと
來上つた。總坪敷八萬五千余坪、殆んど全部
服役囚の手廻になつたもので延人員百二十五
萬人、滿十ヶ年を要したもので收容人員約一
千人、五月上旬落成式を舉行の筈

寫眞は

一、落成した府中刑務所



新聞聯合 寫眞ニュース 第三十四號

◎滿洲國皇帝

聖堂、衛戍病院お成り

(東京) 十年四月十三日

滿洲國皇帝陛下には十三日午前十時湯島聖堂
にお成りの上午前十一時生込若松町の陸軍第
一衛戍病院を親しく見舞はせられ一々各病室
に御足を停めさせられ一よく療養するやうに
と有難き御言葉さへ賜はり患者一同非常に感
激した

寫眞は

- 一、湯島聖堂お成り
- 一、衛戍病院御慰問







◎歐洲名流華族連を滿載

「ブリテン號横濱入港」

（横濱）十年四月十四日

海の豪華版カナダ太平洋の世界一周觀光船エム・ブリテン號（四二、五〇〇噸）は春霞の十日午前六時神戸から復興博に賑はふ横濱へ入港した。今年で横濱へは四度目の訪問だがその北國の大氷山のやうな巨體は復興博見物のお上りさんや東京人あたりの目を見張らせるに充分だ。觀光客は四百四十七名で船客名簿から一寸引き抜いて見るとプロシヤのジョーキム・アルブレヒト公爵夫人、スペインのド・フルセス侯フランスのド・ランブルテイ伯、パリの美術蒐集家M・E・ホートン氏英國クリケット界の重鎮ハロルド・ポードン氏英帝國商業會議所聯合副會長ジョージ・エム・ジャコブ氏等々歐洲の名流華族連が多く未亡人が多いのも目立つてゐた

寫眞は

一、入港の巨船ブリテン號



一、八港の巨船ブリテン號

◎滿洲國女子留學生も參加して

日滿帝國婦人協會の記念祝賀會

(東京) 十年四月十四日

日滿親善に多大の貢獻を捧げて居る日滿帝國婦人協會では十四日午後二時より神田一ツ橋教育會館四階特別室で記念祝賀會を開催、松平俊子夫人の開會の挨拶について滿洲國々歌の奉唱、武藤元帥未亡人の挨拶あり、皇帝御眞筆奉拜後婦人團體代表島津ハル子夫人、女學校を代表して人形使節副使の西忠子さん、小學校を代表して人形使節の正使松平朋子さんの可憐な對話があり兩國萬歳を叫んで君ヶ代吹奏裡に閉會、直にお茶の會に移った

寫眞は

一下場より皇帝御眞筆奉拜の
の了、お茶の會



◎北白川宮御納采、告期の儀

一廿六日徳川祥子姫と御婚儀

(東京)十年四月十五日
 近衛野砲隊附として御勤務中の砲兵中尉北
 白川宮永久王殿下(御二十六歳)には豫ねて
 徳川義恕男二女祥子姫(二十歳)と御婚約中
 であつたがいよいよ來る二十六日宮中賢所大
 前に於て嚴かに御結婚式を擧げさせらるゝこ
 とゝなつたので十五日御納采並に告期の儀を
 行はせられた。此の日北白川宮家の御使石川
 別當は燕尾服に威儀を正して午前十時半牛込
 區市ヶ谷河田町の男爵邸に赴き祥子姫を始め
 兩親の徳川男夫妻に對面、御婚約の旨を傳へ
 御芽出度き結納の品々を差出せば徳川男は姫
 に代つて之を受け次いで石川別當は來る二十
 六日御結婚の儀を行はせらるべき旨を傳へ茲
 に御納采並に告期の儀は芽出度く終了、徳川
 家よりは午前十一時半親戚の津輕義孝伯が宮
 家に伺候御禮を言上退下した

寫眞はその日の祥子姫



新聞聯合 寫眞ニュース 第二號

◎滿洲國皇帝御退京

(東京) 十年四月十五日

滿洲國皇帝陛下には御滯京中の御日程を滞りなく終へさせられ十五日午前九時三十分御名代秩父宮殿下始め奉り各宮殿下以下お見送りの裡に古都御巡遊のため御退京遊ばされた寫眞は

一 秩父宮殿下とお別れの握手を交はさるゝ皇帝陛下



新聞聯合

海外寫眞ニュース

四月十六日

◎流線型列車のチャムピオン

(ベルリン・ロンドン) 發聯合 社會生活の
スピード・アップと共に登場した流線型列車
はその後各國に於て漸く實用の本舞臺に乗
て益々その快速振りを發揮して來たが寫眞は
英獨で製作された最新式流線型列車で獨逸國
有鐵道のもの(煙をはいて居る方)は試運轉
に時速百七十哩を出した優秀車、英國のはガ
レート・ウエスターン鐵道會社がその創立百
年記念日に蒸氣機關車に依る世界最速記録を
作らんがため最近完成したものです







◎陸相の美髯も颯爽と

『けさ騎馬遠乗會』

(東京) 十年四月十七日 五月政變説も春風と共に吹き飛ばし、國策審議會の重大閣議を前に十七日林陸相は勇將閑日月ありとばかり陸軍省暫例による騎馬遠乗會に参加した。午前九時中野電信隊に集合した林陸相を始め人事局長今井中將、軍務局長永田少將、調査部長山下少將、根本新聞班長、牛島高級副官以下五十名餘りの一騎當千の面々は同九時半出發陸相は得意の美髯を春にはや、寒い微風になびかせながら若草の武藏野を颯爽として行く。行程二十キロ、武藏野の春を尋ねて東上沿線の遊園池兎月園に正午到着、午餐を共にして春の行樂氣分を満喫午後四時散會した。

寫眞は

一、林陸相等の遠乗會



新聞聯合 寫真ニュース 第四號

◎日本視察^の滿洲將校團

Ⅰ王中將以下廿九名來朝

(東京) 十年四月十七日

滿洲國軍政部派遣の第五回日本見學滿洲武官
承德地域司令官王永清中將以下少將六、上將
十三、中將三、小校六の一行二十九名は十七
日午前九時三十分東京驛着入京直ちに宮城遙
拜の後旅舎に落付いた
寫眞は

一、滿洲將校團宮城遙拜



◎英皇室の四殿下

(ロンドン) 發聯合 寫眞は英國皇室の御兄
第四宮殿下の最近の御肖像寫眞で (左から)
ケント公デヨージ殿下 (御年三十二歳) エド
ワード皇太子殿下 (御年四十一歳) ヨーク公
アルバート殿下 (御年三十九歳) グロスター
公ヘンリー殿下 (御年三十五歳)

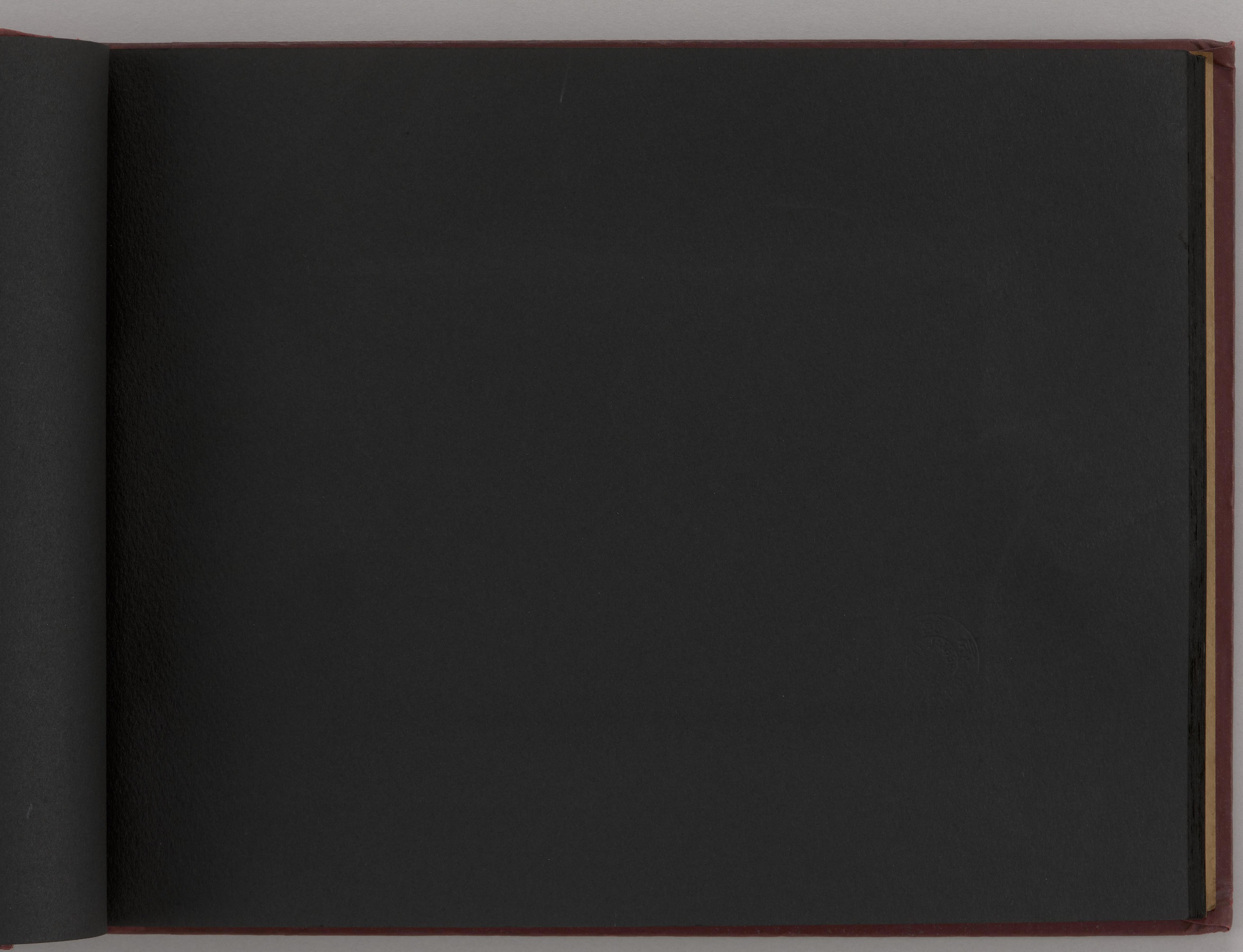
× × ×

◎完成に近づく

「ノルマンディー」號

(サン・ナザール) フランス) 發聯合 有史
以來の最大商船フランスの「ノルマンディー」
は當地で着々その進行を急いで居るが同船は
總トン數七萬六千噸、全長三一三米、時速三
十ノットといふ最優秀船です







新聞聯合 寫真ニユース 第二號

◎皇后宮大宮御所行啓

(東京)十年四月十九日

皇后陛下には十九日午後一時半宮城御出門御
久方振りに大宮御所に行啓、皇太后陛下に御
對面御懇ろなる御挨拶の後茶菓を共に召され
つつ種々御歡談、同四時大宮御所御出門還御
のらせられた

寫眞は

一、大宮御所にて謹寫



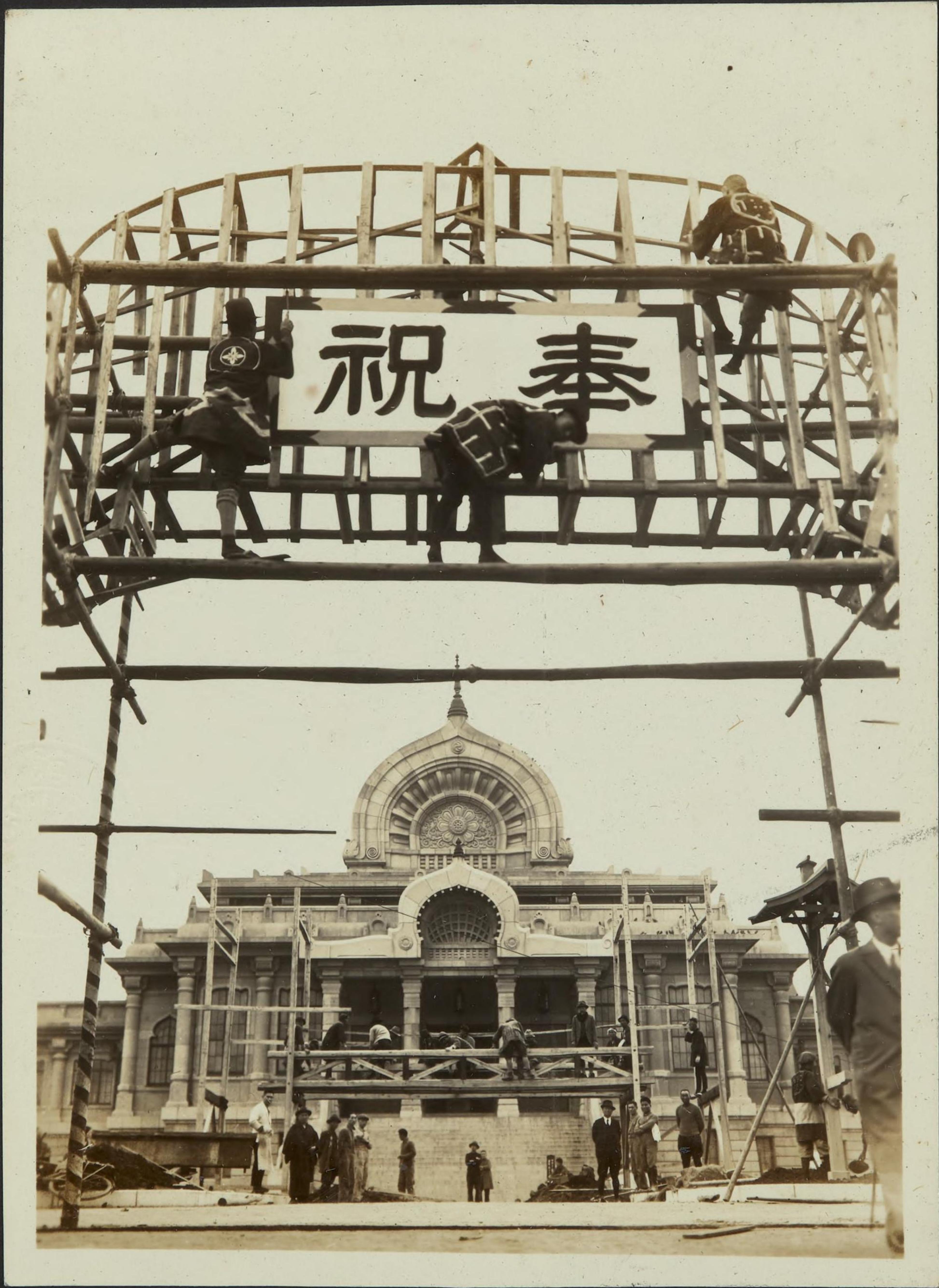
◎築地本願寺落慶式

(東京) 十年四月十九日

准如上人が元和七年江戸に濱町御坊を創建して築地本願寺今日の基を作つてから三百年、昭和六年五月折柄佛教復興の聲高い頃伊東忠太博士始め建築家十數名を動員、工費百八十八萬圓で着工、爾來四ヶ年この程漸く工事の全部を完了し來る廿一日から廿三日迄三日間盛大な落慶法要式を營むこととなつた

寫眞は

一、落成した築地本願寺



新聞聯合 寫眞ニュース 號四一五號

◎入場料切下げで超満員

―復活二季制リーグ開幕―

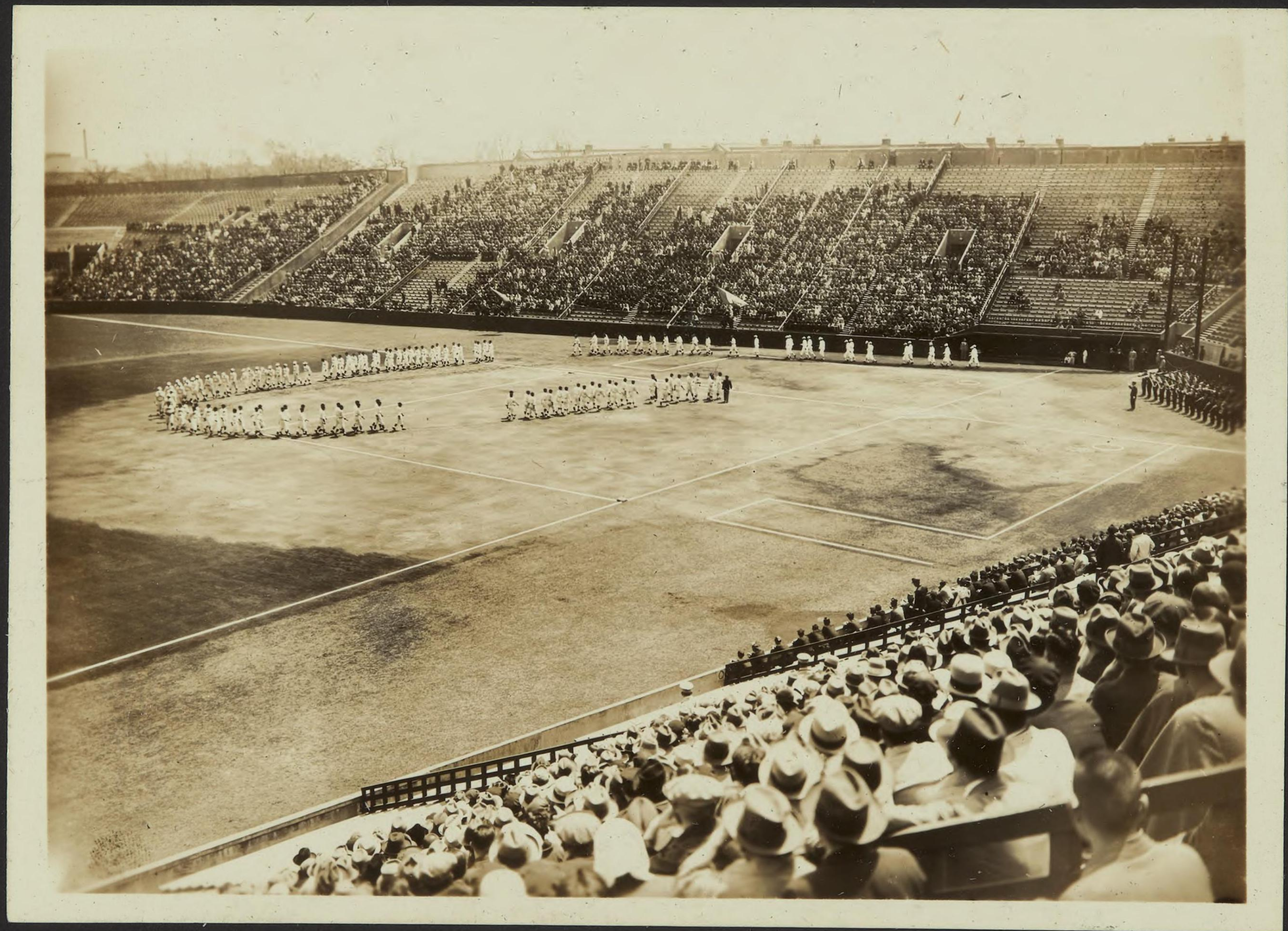
(東京) 十年四月二十日

スポーツシーズンのトップを切つて吉例六大學リーグ戦は新緑と葉櫻が初夏の深い碧空を濃く彩る神宮球場に二十日その幕をあけた。もみにもんだ二季制復活の紛争もあつさり片づけて入場料破格の値下で待望のファンは廣い球場にぎつしり、午前十一時白線も鮮かなグラウンドへ前回の優勝校法政を先頭に明早立慶帝の順位で各選手一同は足どりも軽く盛大な入場式を行ひ續いて法帝第一回戦のフリーバッティングに移り午後十二時半松田文相の美事な腕前の始球式によつていよいよ待望のリーグ戦の幕は切つて落された

寫眞は

一、入場式

一、松田文相の始球式



◎高松宮兩殿下台臨

―浴風會十周年記念式―

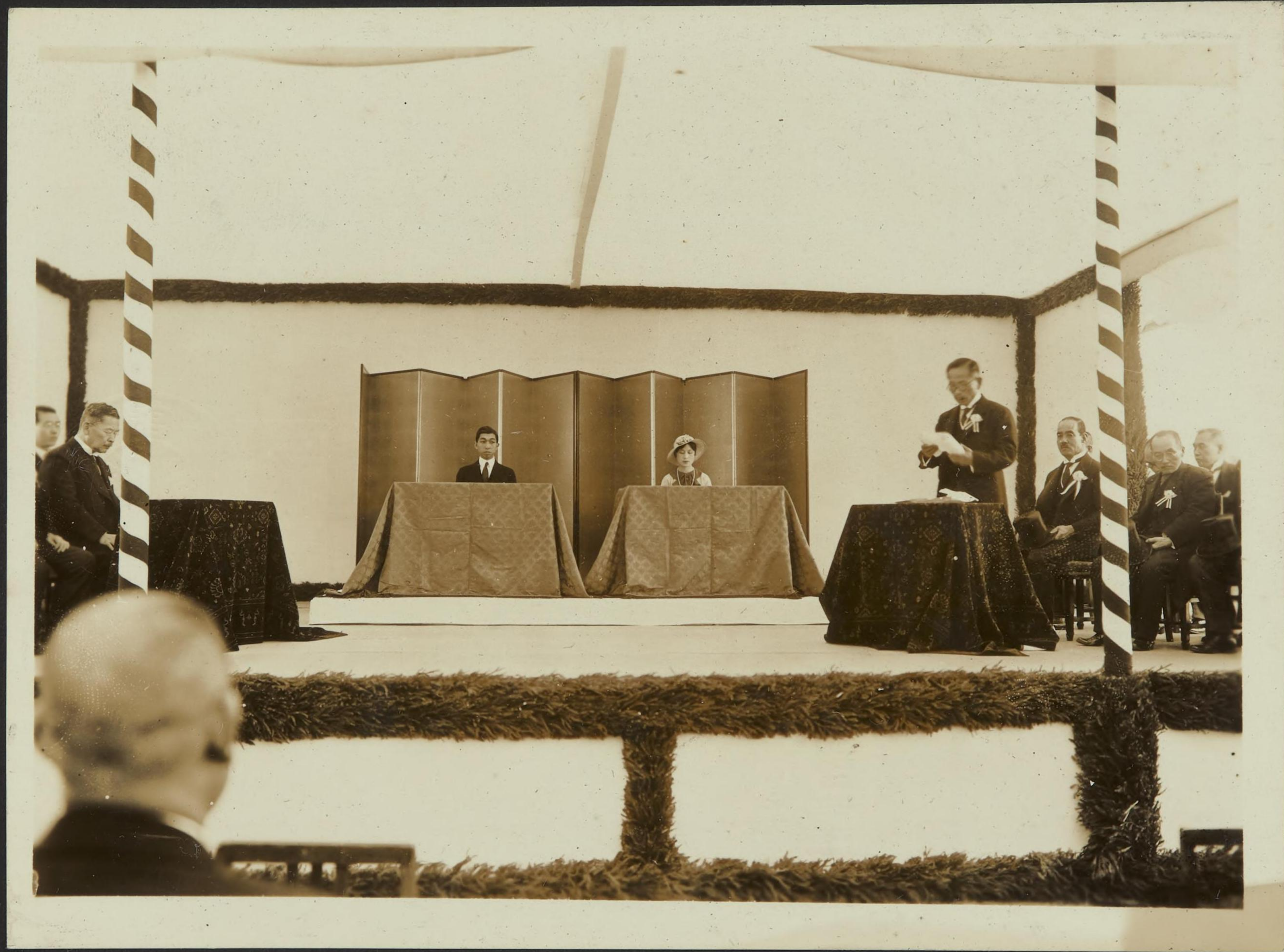
(東京) 十年四月二十日

震災救護の恩賜金で創設された老廢者救護施設財團法人浴風會の滿十周年記念式典は廿日午前十時、上高井戸同會構内に於て高松宮同妃兩殿下の台臨を仰ぎ、後藤内相、湯淺宮相、赤木社會局長、横山府知事その他名士、社會事業家、同會關係者等五百餘名列席の上盛大に舉行された。式典前高松宮同妃兩殿下には常務理事藤原誠三郎氏の御先導で二萬七千坪豪華華美な構内各方面を御巡視、同場禮拜堂で收容者の手藝品、盆栽、揮毫や收容者の疾患等の興味ある統計、デスマスク等御覽がばされまた老廢者五百名の代表として百二歳の長壽を保つ野崎喜平翁に對しに拜謁を賜ひ有難い御慰めの御言葉をかけさせられ午前十時半御歸還遊された

寫眞は

一、式典に台臨の兩宮殿下

一、光榮の老廢者



新聞聯合 寫真ニュース 第三號

◎秩父宮同妃、高松宮三殿下

綜合美術展御成り

(東京) 十年四月廿一日

秩父宮、同妃、高松宮三殿下には廿一日午後
一時半上野府美術館に開催中の同美術館十周
年記念綜合美術展に成らせられ日本畫、洋畫
彫刻、工藝を御覽遊ばされた

寫眞は

一、秩父宮同妃殿下及高松宮殿下



◎築地本願寺の大法要

(東京) 十年四月廿一日

東洋一を誇る善美を盡した築地本願寺新本堂落成記念は大谷光照新法主の就任挨拶を兼ねた「傳燈奉告」法要は愈々同日から三日間盛大に執行され全國から參集の各信徒總數二千名、松田文相、小原法相も臨席落成奉告式は十二時終了した、一方早朝より稚兒さん無量二千名は東劇前に集合本願寺へ向つて四月の春にふさわしい可愛らしい情景であつた

寫眞は

一、大法要と稚兒行列



◎松田文相帝大視察

(東京) 十年四月廿二日

初夏らしい風もさはやかな廿一日午前、松田文相は新装成つた帝大を視察した、兩次官、參與官、秘書官等家の子郎黨を率ゐた文相は足取りも軽く日頃のムヅかしそうな顔付は見られないで絶へず微笑みながら大講堂から圖書館、理學部第二號館より前田侯邸跡の本部洋館で午餐、醫學部の藥理學教室、法醫學教室ではグロテスクな標本に目を見張り續いて外來診療所、法學部第四號館等を廻り三時大講堂に歸着「ホー之は素晴らしい」と全て感嘆の言葉、新しい角帽軍の一齊射撃に遇つても悦に入つてゐた

寫眞は

一、視察の松田文相



◎四長老の内審會議

(東京) 十年四月廿二日

二十二日正午岡田首相は官邸に高橋、町田、
床次氏等を招致し内閣審議會に關する情報を
持ち寄り委員の人選並に長官の銓衡方針につ
いて各自の腹案を披瀝して意見の交換を行つ
た

寫眞は

一、四長老會議



新聞聯合 寫眞ニュース 第一號

◎廣田外相有吉公使會見

(東京) 十年四月二十三日

南京政府を始め支那各地各方面の對日新狀勢の報告並に對支外交根本方針進言のため二十三日朝入京した駐支公使有吉明氏は同日午後零時半外務省に廣田外相を訪問重要會見を行つた

寫眞は

一、外務大臣室にて



◎赤十字救護班編成東京發急行

(東京) 十年四月廿三日

震災の臺灣救護に急行する日本赤十字本社の救護班は班長平尾芳雄醫師以下柴田稔、安原喜三兩醫師、志田源五郎書記、阪入もと、國むらゝ看護婦長以下看護婦十五名と決定、廿三日午前十一時一行廿一名は芝公園本社に集合編成を終り中川副社長の訓辭を受けて一日解散したが同救護班は藥品、繃帶約一千圓の救護材料を携帶、午後八時半東京驛發神戸行急行で西下、廿四日正午神戸出帆の瑞穂丸で現地に急行同社臺灣支部の六救護班と共に罹災者救護に當る

寫眞は

一、出發準備の救護班



新聞聯合 寫眞ニユース 第一號

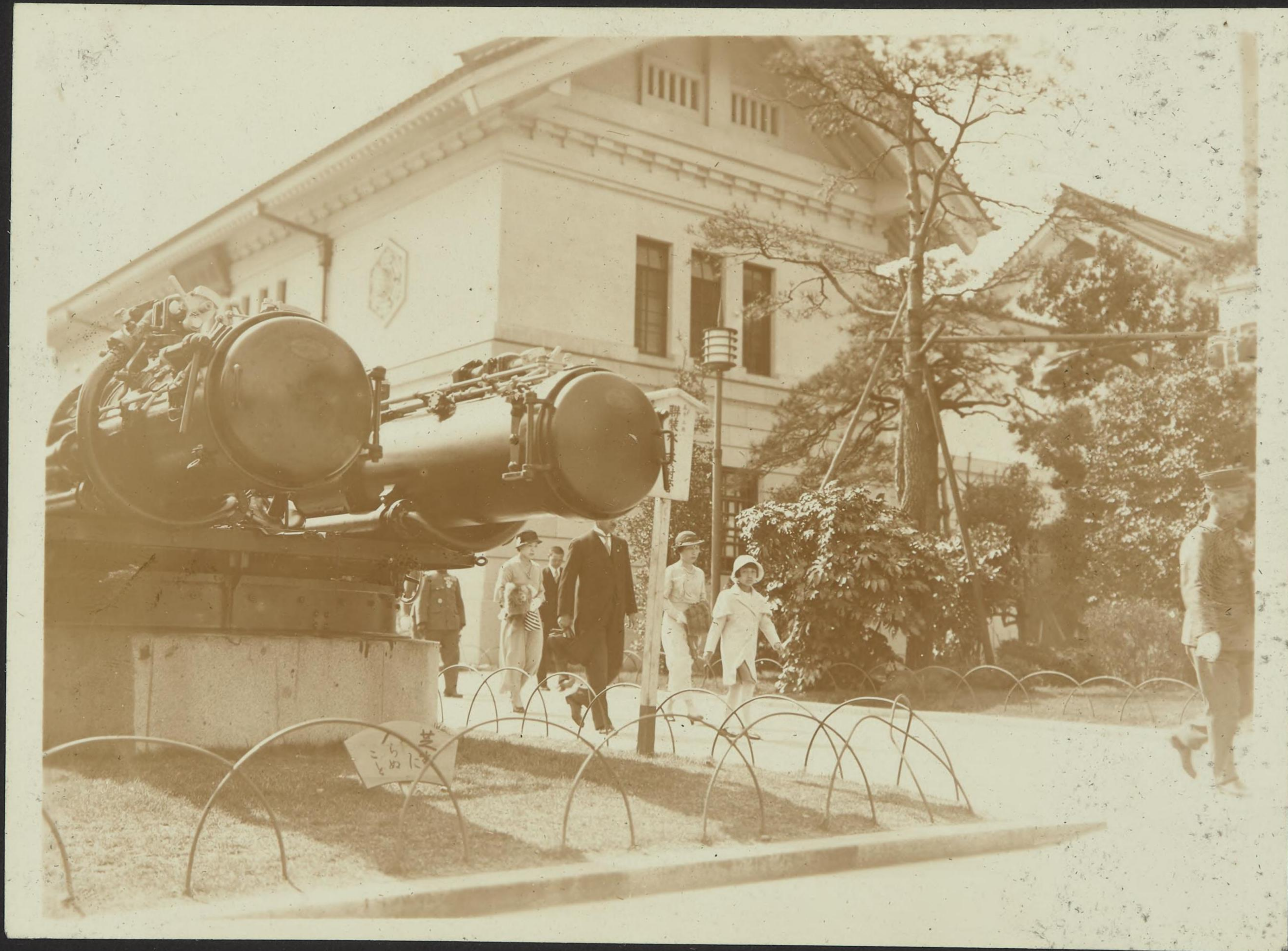
◎照宮様靖國神社御參拜

（東京）十年四月廿四日

照宮内親王殿下には靖國神社臨時大祭に先立
ち廿四日午後一時靖國神社にならせられ御參
拜せられ遊就館、國防館を御巡覽の上三時頃
御歸還遊ばされた

寫眞は

一國防館お祭り



◎ 露國の物資購入委員來朝

(東京) 十年四月二十四日 北鐵讓渡による
物資購入のソヴィエト經濟使節貿易人民委員
部工業部長キセリヨフ氏、工業品輸入部長ガ
ーリン氏、金屬輸入部長ウイクトロフ氏、機
械輸入部長マトウエフ氏、紡績部長ヘオドロ
氏等一行九名はモスコイ日本大使館商務書記
官川合幸左衛門氏と共に二十四日午前七時十
分東京驛着入京直ちに丸の内の商務官事務所
に參集打合せを行つた

寫眞は

一、第一回打合せ



◎武勳の九將星に賜謁

(東京) 十年四月二十五日

滿洲事變に赫々たる殊勳を樹てさきに行賞の御沙汰を拜した西義一、松本直亮兩大將、森連、廣瀬壽助、大谷一男、宇佐美興屋、武田三郎、安藤紀三郎各中將及主計總監佐野會輔、軍醫總監伊藤賢助諸將星は武勳を物語る歌章も輝やかしく廿五日午前十時参内鳳凰の間に於て天皇陛下に拜謁仰付けられ光榮に感激して退下した

寫眞は

一、光榮の三大將(向つて左より)森、松本
西の三大將



天
四
子
國
年
十
歲
十
一
月
十
日
張
子
風
元
雀
於
此
日
錄

◎大楠公を偲ぶ

一廿五日から六百年祭一

(東京) 十年五月廿五日

純忠至誠日本精神の最大權化としてわが青史
に不滅の光を放つ大楠公が延元元年湊川に討
死してよりこゝに六百年。大楠公の誠忠を偲
ぶ六百年祭典は廿五日の湊川神社の祭典を中
心として五月末迄二ヶ月にわたつて全國各所
に行はれる。

寫眞は 一、大楠公を偲ぶ兒童達(宮城前にて)